



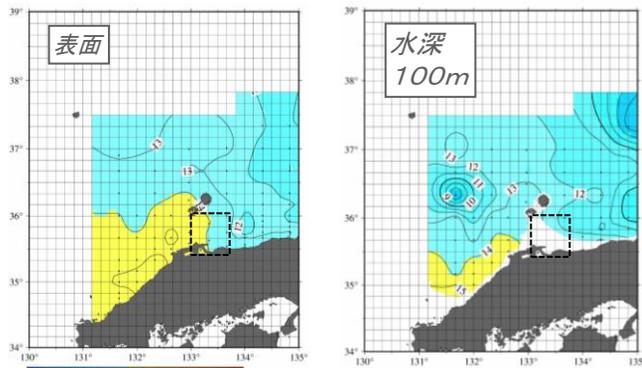
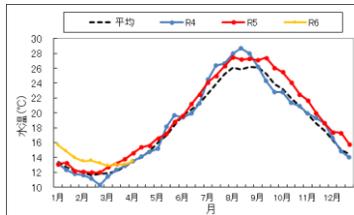
鳥取沿岸の水温

鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽

(電話:0858-34-3321)

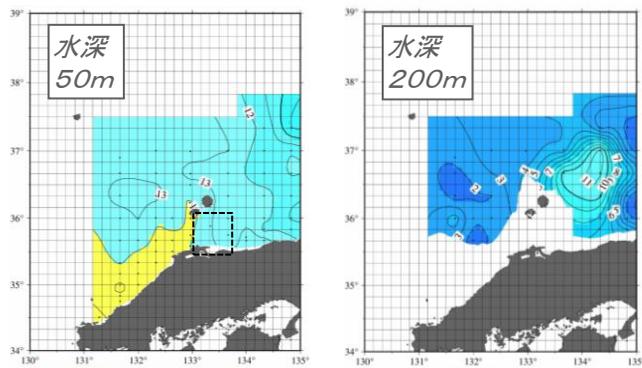
4月中旬 14.8℃

平年より 0.8℃高め



隠岐海峡と鳥取県沖(点線範囲内)の平均水温は13.9℃(11.1～18.7℃)を示しています。【前年差:-0.8℃、平年(直近30年)差:+0.1℃】

平均水温は11.5℃(10.8～12.4℃)を示しています。【前年差:-1.4℃、平年(直近30年)差:-0.9℃】



平均水温は13.3℃(11.2～18.1℃)を示しています。【前年差:-1.1℃、平年(直近30年)差:-0.06℃】

隠岐諸島北方N36°20'付近に10℃以上を示す暖水域があります。

水産試験場

沿岸潮流観測ブイの今後の方針について

1 今後の沿岸潮流観測ブイの運用に関するアンケート結果

昨年9-10月に実施した第1回アンケートは潮流情報登録者316名に配布し、約4割に当たる140名から回答あり、主な結果は以下のとおりでした。
○ブイが絶対に必要と回答したのは73名でアンケート回答者の約5割
○自己負担可能金額については、月額負担の平均金額は891円(最低0円～最高4,167円)との回答結果
※金額記入欄に「×」「0」とあり、経費負担に抵抗があることが伺えた
○ブイを1カ所にする場合、御崎、酒津のどちらを残すかについては拮抗した結果

再度、漁業者負担してもブイを存続すべきかについて問った第2回アンケート(今年1-2月に実施)の結果では回答数102名のうち73名(72%)が、「ブイによる潮流観測を段階的に縮小し、令和12年度にはブイによる観測を終了」することを支持され、現在保有しているブイを壊れるまでできるだけ長く使いつつ、昨年度に水産試験場が開発した漁船からの潮流情報提供システムに移行することに理解が得られた形となりました。

	1 ブイ3基2カ所観測の現行体制を維持	2 ブイ2基1カ所観測に縮小し、ブイによる潮流観測体制を今後も維持	3 ブイによる潮流観測を段階的に縮小し、令和12年度にはブイによる観測を終了	回答数
東部	2	3	25	30
中部	5	10	28	43
西部	8	1	20	29
県全体	15	14	73	102

2 令和6年度からの管理運営費の削減と今後の方針

今年3月上旬に水産庁担当者から資源管理協議会への補助金が大幅に減額となる旨の連絡があり、今年度からのブイに対する助成金(前年度90万円)がゼロとなります。このことから、予備費を全て活用しても、今年度からブイの管理運営費が不足する事態に陥ることが予想されるため、観測箇所を早急に1箇所へ縮小せざるを得ない状況となりました。

漁船からの潮流情報提供システムのデータ更新の状況を鑑みると、県西部海域のデータは県東中部に比べ充実しているため、潮流データの少ない県東部の『酒津沖』でのブイの観測を存続(昨年9月からの状況)することを県からは提案したいと考えています。結論は、例年5月に開催される潮流情報利用調整協議会での議決をもって行うこととしていますが、ご意見がある方は下記担当にご連絡ください。

【担当】 漁業調整課 太田 電話0857-26-7339
水産試験場 尾田 電話0859-45-4500

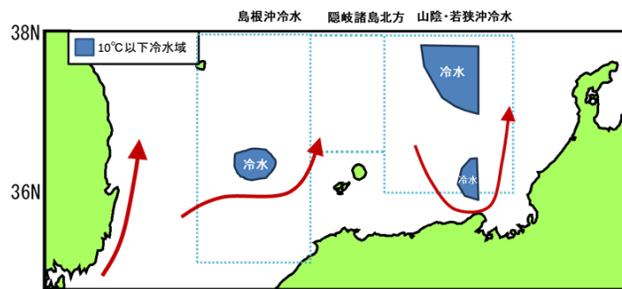
令和6年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町92番地1 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

4月上旬の水塊配置と対馬暖流



鳥根沖冷水域	鳥根沖N36°10'以北に冷水塊が認められます。
隠岐諸島北方の冷水域	顕著な冷水塊が認められませんでした。
山陰・若狭沖冷水域	兵庫県沖N36°以北に冷水域(10℃以下)があると考えられます。
対馬暖流の流路	主流は朝鮮半島東岸に沿って北方に向かい流れると考えられます。支流は鳥根沖の冷水塊の南を隠岐北方に向け流れ、丹後半島に向かって南東方向へ流れています。

境港水産事務所

祝 開催12年目!今年もやってきました^o^

さかいみなど中野港漁村市が開催されます!



写真 昨年度の実施状況

今年で12年目となる「さかいみなど中野港漁村市」が、中野港(境港市巾着町)にて、下記日程で開催されます。
美保湾で水揚げされた鮮度抜群な魚介類を漁業者のみならず特別価格で販売するほか、開催日ごとの目玉商品の販売、キッチンカーの出店やタッチングプールなど、楽しい企画が盛りだくさんです!
第一弾は5/11(土)の「境港サーモンがやってきました!」です。中野港までぜひお越しください。

会場	日程	内容
中野港 (鳥取県境港市栄町92番地1)	5月11日(土)	～境港サーモンがやってきました!～ ・境港サーモンを漁村市価格で数量限定販売 ・境港サーモン団子汁&刺身試食(各200食)、季節の魚販売
	6月8日(土)	～マグロまつり～ ・マグロ販売、刺身の試食、白子の天ぷら試食 ・沿岸の季節の魚販売他
	7月13日(土)	～イワガキまつり～ ・県産天然イワガキ「夏輝」販売 ・何かしらの試食(200食)、沿岸の季節の魚販売他
	9月14日(土)	～秋の沿岸の魚!ベニズワイガニもあるよ!～ ・沿岸の季節の魚&ベニズワイガニ販売、カニ汁配布(200食)他

栽培漁業センター

イワガキ礁の移設調査を実施

「食パラダイス鳥取県」を代表する夏の特産品「夏輝」の持続的安定供給のための取組として、令和5年度から既存のイワガキ礁を食害の少ない場所へ移設する試験を行っています。このたび効果調査(各地区で礁12基を調査)を行った結果、下表のとおり移設した全ての礁で稚貝が確認され、移設がイワガキ増殖場の再生に寄与する可能性が示されました。

ただし、海底の転石上や転石に近い場所に設置されたイワガキ礁では食害生物であるレイシガイが多く確認され、イワガキ稚貝への食害が懸念されました。

今年度も、イワガキ幼生の着底時期に合わせて、食害生物の影響を考慮した場所へイワガキ礁の移設試験を行い、本格移設に向けた知見の収集に取り組む予定です。

場所	礁1面(0.8m×0.8m)あたり稚貝着床数	食害の影響	埋没	本格移設に向けた検討事項
網代	○107～328個体	ごく少	なし	・問題なし →移設試験の延長線上に適期に設置
夏泊	○59～230個体	影響大(岸側)	なし	・食害の影響が大きい岸側は避け、沖側(潮際から4m程度)に適期に設置
泊	○205～595個体	影響大(転石上)	なし	・食害の影響が大きい岸側は避け、沖側(潮際から5m程度)に適期に設置
赤崎	◎360～745個体	ごく少	なし	・問題なし →移設試験の延長線上に適期に設置

潮に夢を 共和水産株式会社
代表取締役 橋津 寛
〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530